

認知症カフェ なごみ

発行

認知症カフェ実行委員会

since 2015

認知症カフェなごみ開催

九月五日（金）十三時
三十分から西一会館で認
知症カフェなごみを開催
し、参加者は31名でし
た。

●オープニングは担当者
の掛け声に合わせて、手指
を使つての脳活教室。指
を折り、数を数えて脳活
を行い、童謡を歌いなが
ら手拍子をしました。

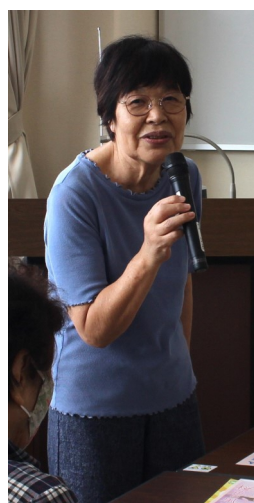
手芸コーナー

（一）臨床美術コーナー
臨床美術士の半田育子
氏の指導のもと、今回
は。ブドウの絵作りでし
た。

机の上に丸く切り抜い
た紙を、ブドウのように
並べます。その上に、白
紙を置いて、テープで固
定し、クレヨンの側面を
滑らせると、白紙の上に
ブドウの形状が浮き上が
ります。

テープを外し、切り抜
いた丸い紙を取り除き、
ブドウの形状を変えて
描き、仕上げます。厚

く塗った色は、割りば
しの先で、周囲を切り
抜くことができます。
茎を描いて、ブドウの周
囲をハサミで切り抜きま
す。好みの色の台紙を選
び、切り抜いたブドウを
置き、糊で貼り付けて完
成です。



お遊びコーナー

(一) 介護相談コーナー
認知症の家族のことで、日頃の悩みや今後の介護の仕方について話し合っていました。

(二) 木製パズルゲーム
手製の木製パズルを4種類持参して、参加者に紹介していました。凹凸のある8個の木片を、バラバラにして、元の木の箱に戻すゲームです。

(三) メイトからの連絡。
九月は認知症月間で、九月二十一日を中心に認知症の啓発活動が実施されています。

(四) 恒例の半田先生による作品講評。

皆さんは高そうなブドウ、小さなブドウや、大きなブドウ、美味しそうなブドウを想像して描いていました。しっかり指先を動かして描いていました。ブドウの色と台紙の色を工夫していて、大変良かったです。

●最後に「椰子の実」「月」を元氣よく合唱し

て終了しました。

●十月の「認知症カフェなごみ」

開催日十月三日(金) 十三時三十分から『西一会館』にて開催します。多数のご参加をお待ちしています。

《認知症カフェなごみは祭日を除き、毎月第一金曜日に開催しています》会場までは草津駅東口からまめバスが出ています。

往復利用の場合、帰りは半額になりますので運転手さんに申し出て下さい(半額利用券を発行してくれます)

どなたでもご自由に参加できますので、お気軽にお越しください。(参加費 200円)

